

えしる設計とせずには柱や梁を現して使用している。2014年に告示化された木造耐火壁構造を活用することで、一般流通材を利用し建設コストを抑えながらも、木質感あふれる空間設計を実現した珍しい物件となった。

同物件は、延べ床面積172平方メートルの木造軸組2階建て。白幡小学校に併設した学童保育施設として用いられた。通常の木造で耐火構造にする場合は、主要構造部を耐火火構造にするイ準耐とするのが一般的。設計を手掛けた環境デザイン・ア

一方、建設地は横浜市の条例により不燃トリエは「子どもが利用する施設であるため、木造を現して使いたい」(安田代表)という思いがあった。この場合、燃えしる設計が広く用いられる手法となる。だが同社は、外壁に21mm厚の石膏ボードを両面2枚張りにする木



2階は屋根の構造用合板も現して用いられている

め、防水・防カビ性能がある吉野石膏の「タイガーボード・タイプZ-WR」を採用することで、養生に配慮した。同物件は「おかやまCLT建築シンポジウム」を開いた。共催は岡山県建築士事務所協会(宮崎勝

CLT建築の課題

各種実験結果を幸

岡山県

岡山県は岡山市内でおかやまCLT建築シンポジウムを開いた。共催は岡山県建築士事務所協会(宮崎勝)と語った。小林正実岡山理科大工学部建築学科准教

河崎氏は「CLTは木口面の割れや幅はぎ未接着部分へ雨水が浸入することで傷んでいる。屋外で用いる場合は、塗料の種類にかかわらず雨対策が必要」と語った。

挑戦する販売店

流通最前線を追って

◇159◇

杜生産・自社検査によるクラ、ミスメザクラ、り品質の確かなものをクリ、ケヤキなどを原提供していくことで信頼に家具向けの成形合板を製造してきた。家具用に使う成形合板は色ムラ、目違いな状態の素材として販売してきたことで、設計事務や家具、照明メーカーなどの目に止ま

メーカー機能を持つ流通

今井産業(青森)

独自商品で消費者接点づくり

今井産業(青森県平川市、今井公文社長)は、木材・建材の販売を軸に地域密着で工務店支援に取り組んでいる。その一方で、グループ会社に合板製造のランバートック工業、集成材製造などのモクテック工業などのメーカーを持ち、独自性の高い商品を開発している。メーカー機能を持つ流通業としてオリジナル商品のツキ板に波板加工などを施した「e-woodプラス」を開発したことで、BtoC事業にも乗り出した。広葉樹丸太から成形合板を製造できる設備を生かし、地域産材の委託加工で学童机の天板なども積極的に受注する方向性を打ち出している。

工務店支援を行う販売板などを製造するメーカーを傘下に収め、14年間に品確法の年にランバートック工業を設立。欧州のチェリー、ビーチ、オークの瑕疵担保責任が10年間義務化された。同社はその対応策として自



メーカー機能を持つ販売店

「ムク材と合板の中間的な素材で、接着を点で行うことで含水率管理をしっかりとやらないと寸法が狂ってしまう」という。工業製品

市新館藤山16-1。電話0172-44-2145。

▽今井産業 青森県平川市新館藤山16-1。電話0172-44-2145。